| 科目ナンバリング | U-LAS01 20020 LJ38 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）<br>Topics in Japanese History (A Court Noble and a Samurai Family of the Sengoku and Syokuho Periods) | 担当者所属職名・氏名 | 非常勤講師 尾下　成敏 | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 歴史・文明(各論) | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2026・前期 | 曜時限 | 金1 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

歴史学とは、どのような学問であるのかを理解することを目的とし、そのための具体例として、日本の中近世移行期（１５世紀半ば～１７世紀半ば）の政治史・文化史を学ぶ。今年度は蹴鞠に見る公家と武家の交流を基軸に据え、最新の学界動向を踏まえながら、講義を進める予定である。

**[到達目標]**

日本の中近世移行期（１５世紀半ば～１７世紀半ば）の政治史・文化史の展開を正確に理解する。

**[授業計画と内容]**

1　イントロダクション、蹴鞠とは？（１）
2　蹴鞠とは？（２）
3　日本蹴鞠史概論（１）
4　日本蹴鞠史概論（２）
5　日本蹴鞠史概論（３）
6　日本蹴鞠史概論（４）
7　日本蹴鞠史概論（５）
8　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（１）
9　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（２）
10　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（３）
11　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（４）
12　１６世紀京都の蹴鞠史―公家と武家の交流―（５）
13　１６世紀の文化・芸能と蹴鞠
14　蹴鞠史研究の課題
＜定期試験＞
15　フィードバック

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

・成績評価は、定期試験（筆記・論述）と平常点（コメントシート提出）をもっておこなう。配点比率は、定期試験８０%、平常点２０%。

日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）(2)へ続く↓↓↓

日本史各論 （戦国・織豊期の公家と武家）(2)

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

・授業前：１）高校日本史の教科書や学習参考書のほか、『天皇の歴史』（講談社学術文庫）、末柄豊『戦国時代の天皇』（山川出版社）などを読むことが望ましい。２）蹴鞠の動画がyoutubeにアップされているので、是非見てほしい。
・授業後：ノートを整理し、授業の内容を振り返ることが望ましい。

**[その他（オフィスアワー等）]**

高校程度の日本史の理解を前提に講義を進めるので、高校で日本史を履修していない者は、教科書もしくは学習参考書の当該部分に、目を通しておくことが望ましい。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**